

ASIS インターナショナル日本支部便り

「現役ボディーガードから見た都会の治安事情」



寄稿：VIA 栗林寿行氏

10月の月次セキュリティミーティングでは、株式会社VIA専務取締役の栗林寿行氏に、「現役ボディーガードから見た都会の治安事情」というテーマで講演していただきました。



10月ミーティングの様子

栗林氏には、本稿の記事も寄稿していただきました。以下はその内容です。

■ ガーディアン・エンジェルス

私のセキュリティの原点は、ニューヨークの地下鉄パトロールで世界的に有名になった防犯ボランティア団体、ガーディアン・エンジェルス（以下GA）にあります。

私は、GA日本支部立ち上げから活動に参加して、日本のみならず、アメリカの本部や支部、ベルリン、リオデジャネイロという都会でもパトロール活動をしました。そこで都会という所を見てきました。

現在はGAに在籍していませんが、その経験が現在の仕事にプラスになっているのは間違いありません。



トークとアクションで熱演する栗林氏

■ 繁華街に立って見た薬物氾濫の現状

さて、日本における治安神話の崩壊が伝えられて久しいですが、今現在も都会には多くの危険が潜んでいます。

私はボディーガードという仕事と同時に、特殊な警備にも携わってきました。

残念ながら、内容の詳細はここではお話できませんが、毎晩のように任務で繁華街数ヶ所の街角に立っていたのです。そこで見たのは、犯罪のオンパレードでした。

特に今も私が憂えているのは、薬物の氾濫です。最近も、



あっと驚く護身法に爆笑する出席者たち

某芸能人のドラッグ事件が起こって大きな問題になりました。しかし、実際には、薬物は特別な人々の間だけでなく、一般の人たちに蔓延しているのです。あなたのまわりに薬物中毒者がいてもおかしくない状態になっています。

ある場所では、狭いエリアなのに、車で一周すると2、3人の麻薬密売人がいるありさまです。その光景は、まるで私が初めてニューヨークのパトロールに出た時のようです。マンハッタンの8番街や9番街にたむろする麻薬密売人の姿と同じ風景なのです。

ついに日本もドラッグ大国になってしまいました。

■ 街のゴミと治安

治安が悪い場所と良い場所の違いは、街にゴミがあるかないか、という点です。これは、結局、そのエリアがきちんと地域住民によって見守られているか！ということに繋がるのです。

私の場合を例に取れば、私は某繁華街が同じエリアにある東京の街で生まれ育ちました。しかし、現在では、私を含めて同級生はその地域にもはや住んでいません。卒業した地元の小学校もすでに統廃合されてしまいました。

すなわち、コミュニティとしての街がほぼ壊滅してしまったのです。そして今では悪名高い繁華街になってしまいました。

■ どうする？ 街の治安

しかし、コミュニティの消滅だけを嘆いても仕方ないのです。問題は、「これからをどうするのか！」です。

誌面上の都合上、私は一点だけ提示したいと思います。それは、「自分のできる範囲で挨拶の奨励をすること。そして、見て見ぬふりをしないこと」です。

最後に、実際の話のひとつ。某繁華街で、日本人の酔っ払い同士がケンカをしていました。ほとんどの日本人は見ても見ぬふり！

これを止めているのは、なんと、ふだん路上にたむろしている黒人！

この現実、情けないと思いませんか。

(栗林寿行氏 寄稿 終わり)